

日本性差医学・医療学会誌

(英語名：Journal of Gender Medicine) 投稿規定

内容

1. はじめに
2. 投稿資格
3. 査読制度 (Peer Review) と投稿論文の採否
4. 論文の形式
5. 論文執筆要綱
6. 著者校正
7. 著作権
8. 共著者全員の同意
9. 他言語で投稿された論文を日本語で重複投稿する場合はバンクーバー基準
10. 二次使用許諾申請
11. 共著者全員の同意
12. 投稿規定の変更

1. はじめに

本誌は日本性差医学・医療学会の公式ジャーナルで、性差医学・医療に関する論文（原著、総説[原則 invited article]、症例報告、レター）で、他誌に発表されていないもの、または投稿中でないものを掲載した電子ジャーナルです。当面、年間2回発刊し、日本性差医学・医療学会のホームページからダウンロード可能なオンライン発行とします。

2. 投稿資格

論文を投稿する場合、原著、症例報告、レターに関しては、日本国内に在籍する筆頭著者の場合は本学会会員に限ります。但し、編集委員会より依頼した invited article に関してはこの限りではありません。なお当面、掲載料は無料とします。

3. 査読制度 (Peer Review) と投稿論文の採否

投稿論文の採否は査読制度 (Peer Review) に基づき、複数の査読委員のコメントを参考に編集委員会に諮り、編集委員長(Editor in Chief)が論文の採否の最終決定を行います。また専門性が特に高い領域の論文に関しては、編集委員長は必要に応じて、共同編集者(Associate Editor)を指名し、共同編集者の採否に対する意見を参考にしながら、編集委員会に諮り、編集委員長が論文の採否の決定を行います。

なお、一度不採用になった論文の再投稿は受け付けません。

4. 論文の形式

4-1 原著、総説[原則 invited article]の著者数は原則 20 名以内としてください。

4-2 症例報告の著者数は 6 名以内としてください。

4-3 レターは本誌に掲載された論文に対しての意見、質問、コメントなどであり、査読は編集委員長が行う。著者数は 5 名以内、文献は 10 編までとし、レターに対しては必要に応じ、元論文の著者に回答、コメントを求めることがあります。

4-4 論文投稿の注意事項

1) 論文投稿前の注意点

共著者がいる場合は必ず全員が、誤字脱字の確認を含めて最終稿を十分推敲し、全員が原稿の内容に最終的な責任を持つこと。著者 1 名による執筆の場合は、指導者のチェックを求める。文章・体裁にあまりに不備が多い場合は、in-house で査読にまわさず不採用とする場合もあります。

2) 原稿の体裁

原稿は、A4 判、余白は上下左右約 30mm、フォントサイズは 10~12 ポイントとし、約 40 文字/行、ダブルスペースとしてください。論文には、タイトルページからすべてのページにページ番号を入れてください。

3) 論文ファイル

- 本文：Word で作成。
- 表：Word または Excel で作成してください。

各表には"Table 1"というように番号をふり、タイトルも英文で記載してください。

- 図は PowerPoint、TIFF、JPEG のいずれかで作成し、挿入場所を明確にするため、文中に添付して送ってください。

4) 英文要旨

英文要旨は、適正な英語で書かれたものを送ってください。

5) 用語

日本医学会分科会の用語集とともに医学用語辞典（WEB 版）に準拠してください。

<http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>

6) 製品名

製品名を記載する場合は、論文中の初出時にメーカーを記載してください。⇒ 製品名（メーカー名、都市名、（州）、国名）

7) 論文・記事において転載許諾が必要な部分については、自由投稿・依頼投稿を問わず、著者の責任で投稿前に許諾を得ておいてください。

5. 論文執筆要綱

5-1 タイトルページ

以下内容を明記してください。

- 題名（日本語）
- 著者名（日本語）
- 所属（日本語）
- Keywords（日本語 3～5 語以内、英語 3～5 語以内）
- 日本語 20 字以内の欄外見出し(short running title)および英語 8 文字以内の short title
- 連絡先（Corresponding author の氏名，住所，電話番号，E-mail address）
- 学会発表をおこなった場合は学会名，発表年，場所
- CLINICAL TRIAL REGISTRATION が行っている場合はその番号(NCT 番号等)
- 患者からのインフォームドコンセントを得ている場合は、その旨を記載する。
- COI 開示（以下 4-5 参照）

5-2 和文要旨

原著、総説とも 400 字以内。目的、方法、結果、結論の順に記載してください。

症例報告は 400 字以内、項目をつけずに、背景、症例、結論の順に記載してください。

5-3 英文タイトル・英文要旨

和文タイトルページ・和文要旨に続けて、英文で以下内容を記載してください。

- タイトル
- 著者名
- 所属
- 要旨

(原著、総説[原則 invited article]) 300 語以内。Objective、Methods、Results、Conclusionの順に記載する。

(症例報告) 300 語以内。項目をつけずに、背景、症例、結論の順に記載する。

5-4 本文

図表がある場合は、すべての図表を順番通りに引用してください。

〔原著〕はじめに、対象と方法、結果、考察、結論、利益相反の開示、引用文献、図表の説明（英文）の順に記載する。図表は合計 8 点以内とします。

〔症例報告〕背景（報告の意義）、症例、考察、利益相反の開示、引用文献、図表の説明（英文）の順に記載する。図表は 4 点以内とします。

〔レター〕題名、本文、著者、所属機関、文献の順に記載し、本文は 800 字以内とします。レターについては規定文字数を超過したものは原則として受け付けませんので、ご注意ください。

5-5 利益相反(COI)の開示

すべての論文について、下記の記載を参考に利益相反状態について報告してください。

報告は、下記①、②両方によっておこなってください。

① 本文に明記（引用文献の前）。

記載の例：AZ（著者）は KL 社（企業）の顧問である。；BC の配偶者は KY 社の取締役である。；CA は ZW 社から研究費を受けた。；PD は SS 社から講演料を受けた。；EX は QQ 社の特許を有している。；FX は RW 社から会議参加の費用提供を受けた。；GT は CS 社から販促資料執筆に対して謝礼を受けた。；PC は利益相反はない。あるいは共著者全員が利益相反はない。

②利益相反開示書の提出。

著者全員の利益相反関係を明記した開示書を、投稿時に提出する。利益相反関係がある場合には、関係する企業・団体名も明記する。

5-6 引用文献

原著、総説とも、原則 30 編以内とし、引用順に番号をつけて列記してください。著者名は 3 名までとし 3 名以上のときは邦文では「他」、英文では「et al」と記載してください。雑誌：著者名. 論文題名. 雑誌名 発行年（西暦）；巻: 初頁-終頁. ただし、早期公開などで巻号・頁が決まっていない文献は、DOI 番号を記載してください。

単行本：著者名. 書名. 必要があれば版数（または、著者名. 論文題名. 書名. 編者名.）、発行地：発行所；発行年.

必要があれば引用頁（初頁- 終頁）。外国文献の略記は Index Medicus に従ってください。

5-7 引用上の注意

1) 他の記事から引用する場合、間接引用・直接引用問わず、必ず出典明記してください。どうしても直接引用する必要がある場合は、「必要最低限の分量」を「原文のまま」「自分の本文と引用部分をカギ括弧やインデント等で明確に区別する」こととします。

2) 許諾が必要な場合は、著者の責任で手続きをすませてから投稿してください。

5-8 図表

原著は原則として図表合わせて8点以内、症例報告は4点以内とし英語で作成することとします。レターに図表は認めません。

図表の説明文はすべて英語とし、論文ファイルにも文献リストの後にまとめて記載してください。

6. 著者校正

著者の校正は1回とします。

7. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、日本性差医学・医療学会に無償で帰属します。論文は、クリエイティブコモンズ BY-NC-ND（表示—非営利—改変不可）の国際ライセンスの条件下で掲載されます。投稿時に、著者全員の「投稿と著作権譲渡の同意書」を論文と一緒に提出してください。投稿・著作権譲渡 同意書 (copy right transfer)は学会 HP に access してください(同封)。

8. 共著者全員の同意

投稿直後に、共著者全員の同意は、first author または corresponding author が投稿前に取得してください。また共著者全員のメルアドを記載してください。後日、共著者より、著者の不同意が学会に公式に伝えられた場合には、論文は withdraw させていただきます。

9. 他言語で投稿された論文を日本語で重複投稿する場合はバンクーバー基準(International Committee of Medical Journal Editors: Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals)に準ずることとします。すなわちすでに外国語で掲載された論文は、著者本人がその出版社に許諾を得、許可書を提出することにより当学会誌への投稿を認めます。その際は論文にその旨を明記する必要があります。事前の報告なしの二次出版が判明した論文は、掲載しません。また掲載後に二次出版が判明した場合には当該論文を取り消しとします。

2-2 他言語で投稿された論文を日本語で重複投稿する場合はバンクーバー基準(International Committee of Medical Journal Editors: Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals)に準ずることとします。すなわちすでに外国語で掲載された論文は、著者本人がその出版社に許諾を得、許可書を提出することにより当学会誌への

投稿を認めます。その際は論文にその旨を明記する必要があります。事前の報告なしの二次出版が判明した論文は、掲載しません。また掲載後に二次出版が判明した場合には当該論文を取り消しとします。

10. 二次使用許諾申請

日本性差医学・医療学会が発行する学会誌、論文誌、書籍の本文、または図や表の一部を利用するには、転載許可の申請が必要です。転載許可を申請される方は、「転載許諾申請書（学術用・商用）」に必要事項をご記入の上、

日本性差医学・医療学会事務局 編集委員会

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13-4F

Tel: 03-5981-6011 Fax: 03-5981-6012

E-mail: gsmj@asas-mail.jp まで電子メールで申請して下さい。

11. 共著者全員の同意

投稿直後に、共著者全員の同意は、first author または corresponding author が投稿前に取得してください。また共著者全員のメールアドレスを記載してください。後日、共著者より、著者の不同意が学会に公式に伝えられた場合には、論文は withdraw させていただきます。

12. 投稿規定の変更

日本性差医学・医療学会誌は 2023 年度から出版が始まった雑誌であり、今後の日本性差医学・医療学会の発展のため、投稿規定は学会誌編集委員会で検討を重ね、必要があれば適宜変更する。

以上

投稿方法:原稿の送り先

投稿規定に合った原稿を、下記のメールアドレスにお送りください。

原稿送り先

日本性差医学・医療学会誌 Editorial Office

(日本性差医学・医療学会事務局)

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13-3F

Tel: 03-5981-6011 Fax: 03-5981-6012

E-mail: gsmj@asas-mail.jp

編集委員会メンバー

日本性差医学・医療学会誌 学会誌編集委員長：尾崎行男（藤田医科大学岡崎医療センター）

日本性差医学・医療学会 理事長：片井みゆき（政策研究大学院大学）

日本性差医学・医療学会 副理事長：秋下雅弘（東京大学・老年病学）

日本性差医学・医療学会誌 学会誌編集委員：宮尾益理子（アットホーム表参道クリニック）

日本性差医学・医療学会誌 学会誌編集委員：宮本恵先生（国立循環器病研究センター）

日本性差医学・医療学会誌 学会誌編集委員：佐藤洋美（千葉大学大学院薬学研究院）

日本性差医学・医療学会誌 学会誌編集委員：小林範子（北海道大学病院婦人科）

日本性差医学・医療学会事務局：川村典子

2023年10月10日

2025年8月19日改訂